

# わたしたちの人權

98

だれもが人間として生きていくうえで侵すことのできな  
当然の権利。これが「人權」です。

## あなたも、ぜひ参加を

### 5・23差別をなくす山都地区集会

差別のない明るい町づくりを推進するために、「第18回  
5・23差別をなくす山都地区集会」が次の日程により開  
催されます。たくさんの方のご参加をお待ちしてあり  
ます。

## 第18回 5・23差別をなくす 山都地区集会

■日程 平成25年5月25日(土)

午前8時45分 アトラクション(矢響太鼓)  
午前9時00分 開会(うたごえ)  
主催・共催団体代表挨拶  
問題提起、決意表明  
集会宣言・スローガン採択  
午前11時00分 閉会(うたごえ)

■場所 矢部中学校体育館

この集会は、部落差別をはじめ、いじめや  
仲間はずしなどのあらゆる差別をなくしてい  
くことを目的に、子どもたちが主体となりな  
がら、大人も共に学び合う集会です。  
昨年の集会で一般参加者を対象にアンケ  
ー調査を実施しました。回答があった約100  
件の中から、一部を抜粋して紹介します。

○小学生や中学生の方々が真剣に差別につ  
いて考えておられ、素晴らしいことだと思  
います。保育園の頃から差別について考える  
ことで必ず今後につながっていくと思いま  
すので、この集会をこれからも続けていく  
ことが大事だと思います。(20代・男性)  
○子どもたちの発表に力強さを感じまし  
た。この発表できる力、行動する力をこれ  
からもつけていってほしいです。

○今回の発表はこれまでの発表と比べるとす  
ぐ良く詳しく調べてありました。一人ひと  
りが意識して考えていたと思いました。この  
日だけの行動、言動でなく、ずっと、これ  
から先も差別に対して考えてもらいたい  
です。(40代・女性)

○年々、内容が充実してきていると思います。  
今年には特に素晴らしかった。特に矢部小4  
年生の発表に感動し涙が出ました。子ども  
たちに、生き方のあるべき姿を学んだよう  
な気がしました。(60代以上・女性)

○子どもたちのうたごえや太鼓を聞いてとて  
も元気をもらいました。また、子どもたち  
の学習発表を聞いて、たくさん考えさせら  
れました。(50代・女性)  
○子どもたちのひたむきな言葉に心打たれる  
ものが多くありました。これまで来なかつ  
た自分を反省しています。今日、出席しな  
かった人たちに5・23の良さを伝え、どん  
どん参加してもらいたいです。まずは知っ  
てもらうことを第一にこの山都地区集会に  
行ってもらいたいと思います。来れない人の意  
見として「差別を知って当たり前」とい

う言い方はしないでほしいと思います。お  
互い受け入れる気持ちを大事にこのすばら  
しい5・23集会を作っていきたいです。

○5・23差別をなくす山都地区集会で感じた  
ことは、石川さんは何も悪いことをしてい  
ないのに文字が読めない逮捕されたというだ  
けで警察が犯人扱いして逮捕された話が一  
番印象に残りました。また山都地区集会  
に参加して部落差別のことや、いじめ、仲  
間はしないの事を考えていきたいと思いま  
す。(20代・女性)

○子供たちの発表を聞き、我々大人も頑張  
って差別をなくす運動を広げていき、世界中  
から差別がなくなる平和な時代にしなければ  
ばと思います。もっと多くの町民の方に  
も参加してほしい。(40代・男性)

昨年のアンケートでは、このように「参加  
して良かった」という意見がたくさん寄せら  
れています。今回も子ども達の元気な発表が  
あります。大人のみならず、ぜひ参加して、  
共に学び合いたいです。



昨年の5・23集会で元気に歌う子ども達

## 季節のうた

### やまなみの会

ペン先に立春といふはずむもの  
人影の少ない村の梅日和  
旧道の村の四五戸や梅咲けり  
お父さんあなたの好みし数の子を  
母退院炬燵に座り豆を運る  
正月を病院で寿ぐ夫哀れ  
「家へ帰る」とくりかえし言う

### 通潤句会

畦塗りの鎌の動きや父仕込  
先生の引越しといひ山笑ふ  
清和短歌会  
白々と梅満開の下に來し昂る心鎮めんと立つ  
又一人孫の巣立ちし夕暮れは  
流れる雲を追いて見守る  
地下足袋のハゼを締むるも久々か  
畠に出でて春の土踏む

### 馬見原酔山会

車座やしだれ桜を傘にして  
畑を打つ一鎌毎にミミズをり  
名残惜しお弁当にも花幾つ

赤澤富美子	草樹 萌	原田 和子	今村 芳子	本田健一郎	山下 弘子	菅 清次郎	菊池 成河	梶原 徹	原田由紀子	米田 定	高田 眞司	渡辺 勝子	畑野フミヨ
-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	------	-------	-------	-------

## 書道

花移日影流亭午風  
送鶯聲度翠微

淳子書

和光教室書道部の八田豊久さん(入佐) 作

## 編集後記

気づいていませんでした、広報  
やまとの担当になるまでは...。  
4年間、カメラを通して見た山都  
町は、美しい花や風景、そしてさ  
まざまな分野で輝く人たちが、元  
気な地域ばかり。新たな発見も多  
く、感動の連続でした。その感動を、  
いかにして伝えようかともがき続  
けた4年でした。4月の人事異動  
により広報誌担当を離れます。取  
材などご協力いただいた皆さまと、  
ご愛読いただいた皆さま、そ  
して家族に深く感謝します。あり  
がとうございました。(藤川)

5月の当番医  
5月5日 そよう病院(電話83-1122)  
5月12日 高田整形外科(電話72-1007)  
5月19日 坂本クリニック(電話72-0210)  
5月26日 伴病院(電話72-0029)

## 山都町の人口

(平成25年3月31日現在)

男 8,307人 (-71)  
女 8,905人 (-67)  
計 17,212人 (-138)  
世帯 6,741戸 (-25)

※( )は前月比  
※最高齢は106歳〔女性1人〕  
※1月1日～3月31日の出生届数  
27人(うち3月は13人)  
※1月1日～3月31日の死亡届数  
91人(うち3月は31人)

4月から広報誌の担当をするこ  
とになりました。これまで何度か  
取材や撮影へ行きましたが、取材  
の仕方からカメラの使い方、全  
てが初めての経験です。パソコンを  
開けば前任者の素晴らしい写真と  
業績。気分が落ちかけていたそん  
な時、小学校の入学式に写真撮影  
へ行きました。そこで出会った新  
1年生の溢れんばかりの元気のよ  
さに「自分も頑張ろう」と気持ち  
を入れ替えることができました。  
これから色々な所へ赴き、発見し、  
皆様へ少しでも伝えていければと  
思います。どうぞよろしくお願  
いします。(K)